



保存版



防災 ハザードマップ



”いざ”という時のために、備えよう!



←ホームページはこちら

令和8年3月作成



はじめに

「志免町防災ハザードマップ」は、町民の皆様には風水害や地震に関する情報を提供し、災害に対する事前の備えに役立てて頂くことを目的に作成しています。

身の回りの危険箇所や避難所、避難経路を「ご家族」で確認し、日頃から災害に備えてください。

このハザードマップをご家庭や自主防災組織の活動など、地域の防災力向上にぜひお役立てください。



シメツチャ

【目次】

● はじめに・目次	● 地震 16
● 防災ハザードマップの使い方・オリジナルマップの作成 1	● 火災 17
● 志免町過去の災害記録 2~3	● 指定避難所一覧 18
● 日頃の備え(自助) 4~5	● ハザードマップ (洪水・内水・土砂災害)索引図 19
● 日頃の備え(共助) 6	● ハザードマップ (洪水・内水・土砂災害) 20~27
● 避難情報 7	● 地震揺れやすさマップ 警固断層 28~29
● 情報の伝達経路 8	● 地震揺れやすさマップ 西山断層 30
● 防災情報の収集 9	● 地震揺れやすさマップ 宇美断層 31
● マイ・タイムライン 10	● 高潮 32
● 避難のポイント 11	● 高潮ハザードマップ 33
● 洪水 12~13	● 防災に関する知識
● 土砂災害 14~15	

発行：志免町
制作・著作：株式会社ゼンリン福岡支店
作成：令和8年3月

この地図は、志免町長の承認を得て、同町所管の測量成果志免町基本図（1/2,500）を使用したものです。（承認番号 志免町都第1224号）
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 167-708号」

（禁無断複製）© 2026 ZENRIN CO., LTD.



防災ハザードマップの使い方

- 見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 表示してある危険箇所は、土砂災害や浸水被害が発生する可能性がある場所です。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。
- 避難する場合に備え、最寄りの指定避難所や親戚・知人の家などの避難する場所を事前に確認しましょう。

ステップ

1

自宅周辺の「危険箇所」を確認しましょう。

- 自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域などがあるか確認しましょう
- ▶20～27ページ ハザードマップ(洪水・内水・土砂災害)
 - ▶28～31ページ 地震揺れやすさマップ
 - ▶33ページ 高潮ハザードマップ

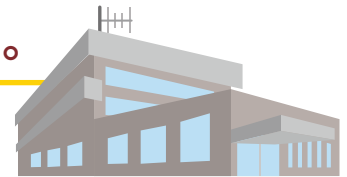


ステップ

2

自宅周辺の「最寄りの避難所」を確認しましょう。

- 避難所一覧から確認しましょう
- ▶18ページ 指定避難所一覧
- ハザードマップから確認しましょう
- ▶20～27ページ ハザードマップ(洪水・内水・土砂災害)



ステップ

3

非常用持出品を確認しましょう。

- 非常用持出品・備蓄品を確認しましょう
- ※家族構成で持ち出し品は変わります
- ▶5ページ 日頃の備え(自助)



ステップ

4

防災情報を確認しましょう。

- 役場や各関係省庁が発信する正確な情報を確認しましょう
- ▶9ページ 防災情報の収集



オリジナルマップの作成

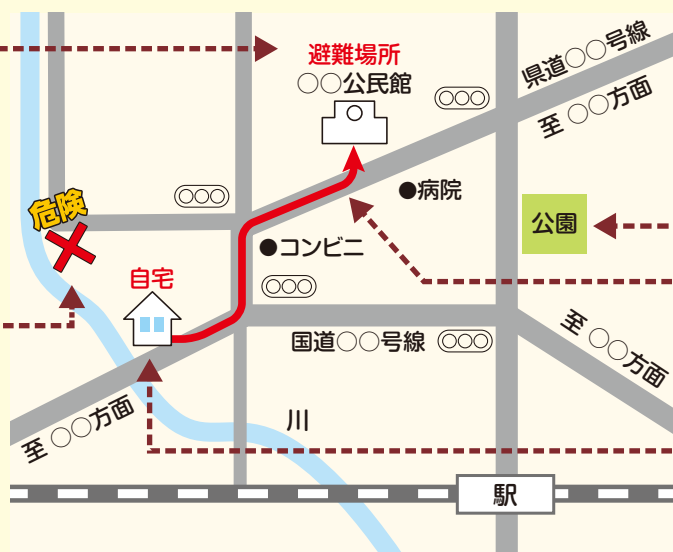
家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から指定避難所や親戚・知人の家などの避難場所までの経路や危険な場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しましょう。

● 避難場所

災害が起きたときの避難場所をチェックしましょう。

● 危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。



● 目印となる場所

避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角にはわかりやすい目印を書き込みましょう。

● 避難経路

避難場所までの経路を書き込みましょう。

● 自宅

あなたの自宅を書き込みましょう。

過去の災害

自助

共助・避難

情報

洪水

土砂災害

地震・火災

避難所一覧・ハザードマップ

ハザードマップ

揺れやすさ

高潮

平成15年(2003年)7月大雨

吉原橋上流(堤防決壊)



平成15年7月19日、宇美川上流の三郡山麓で、時間降雨量約100mmの豪雨が2時間にわたり発生し、下流域の宇美町、志免町、福岡市に甚大な被害が出ました。
志免町では、各地で宇美川が溢れ、吉原橋上流左岸の堤防が決壊しました。
この水害による町の被害は、床上浸水190世帯、床下浸水259世帯に達しました。
その後、平成15年から平成19年まで、宇美川の河川改修工事が行われました。この工事では、川幅の拡張や河底の掘り下げ、堤防の補強、橋の架け替え等が行われました。

志免西小学校前(県道68号線冠水)



志免城戸公園交差点(土砂堆積)

亀山橋上流(町道沿いが陥没)

吉原橋上流(堤防決壊)

河川改修後の吉原橋付近

平成21年(2009年)7月大雨

平成21年7月24日から26日にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、中国地方や九州北部で、記録的な大雨となりました。
24日夕方頃には、博多(福岡空港)で1時間116mmの大雨を記録しました。
この水害による町の被害は、床上浸水52世帯、床下浸水164世帯に達しました。



日枝橋(堤防損壊)



田富橋上流(堤防損壊直後の応急作業)

平成17年(2005年)

福岡県西方沖地震

平成17年3月20日10時53分頃、福岡県北西沖を震源とするマグニチュード(M)7.0の地震が発生しました。福岡市中央区・東区と福岡県前原市(現糸島市)、佐賀県みやき町で震度6弱を観測したほか、九州地方から関東地方に至る広い範囲で震度5強～震度1を観測しました。九州地方で震度6弱以上の揺れが観測されたのは、1997年5月の鹿児島県薩摩地方の地震(M6.4、最大震度6弱)以来のことでした。

■ 各地の地震の震度

震度	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県
震度6弱	福岡市(中央区、東区)、前原市(現糸島市)	みやき町		
震度5強	福岡市(西区、早良区)、久留米市、大川市、春日市、粕屋町、須恵町、新宮町、志摩町(現糸島市)、久山町、穂波町(現飯塚市)、二丈町(現糸島市)、碓井町(現嘉麻市)	上峰町、七山村(現唐津市)	杵臼市	
震度5弱	福岡市(博多区、城南区)、直方市、飯塚市、柳川市、中間市、小郡市、大野城市、宗像市、福津市、うきは市、那珂川町(現那珂川市)、宇美町、篠栗町、志免町、大島村(現宗像市)、遠賀町、若宮町(現宮若市)、筑賀町(現飯塚市)、朝倉町(現朝倉市)、夜須町(現筑前町)、大刀洗町、大木町、高田町(現みやま市)	唐津市、鳥栖市、多久市、小城市、諸富町(現佐賀市)、川副町(現佐賀市)、東与賀町(現佐賀市)、久保田町(現佐賀市)、大和町(現佐賀市)、神埼町(現神埼市)、千代田町(現神埼市)、三田川町(現吉野ヶ里町)、三瀬村(現佐賀市)、北方町(現武雄市)、江北町、白石町、嬉野町(現嬉野市)		中津市

■ 福岡県西方沖地震による被害状況(余震含む)

市町村名	人的被害			住家(住居)			最大避難者数 (カッコ内の日付に発生)
	死者	負傷		全壊 棟	半壊 棟	一部損壊 棟	
志免町		14	1	13		55	10(3月21日)
新宮町		2		2		216	
宇美町				2		36	
久山町		3		3		14	
粕屋町		1	1			6	22(3月20日)
須恵町		2		2		108	11(3月20日)
篠栗町		5	1	4		28	
古賀市						242	6(3月20日)
福岡市	1	926	163	875	141	323	4,756 2,759(3月20日)
その他の市町村合計		233	31	90		29	3,729 68(3月21日)
合計	1	1,186	197	989	143	352	9,190 2,876(3月21日)

(福岡県「平成17年災害年報」より ※最大避難者数については「福岡県西方沖地震震災対応調査点検委員会報告書」平成17年7月より)

■ 福岡県における震度6弱は観測史上初めて

福岡県は地震による被害を受けた経験が少ないといわれてきました。福岡管区気象台の有感地震記録によると、明治37年(1904年)に近代的な地震観測が開始されて以降、福岡県西方沖地震発生までは、震度5以上を観測したことは一度もなく、震度4が最大でした(震度4は5回観測)。

■ 福岡県及び志免町の被害状況

福岡県における人的被害は、死者1人(福岡市博多区、ブロック塀倒壊によるもの)、重傷者197人、軽傷者989人の計1,187人でした。被害の多くは福岡市と隣接する前原市(現糸島市)で発生し、特に震度6弱から5強を観測した福岡市に人的被害の約9割が集中しました。県内の住家被害は9,685棟に上りました。

志免町においては震度5弱を観測し、負傷者14人(重傷1人、軽傷13人)住家の一部損壊55棟の被害などが発生しました。



玄界島

日頃の備え(自助)

突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましよう。
日頃から対策ができていないか、チェックしましょう。

地震への備え

チェックポイント

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。

チェックポイント

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

チェックポイント

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

チェックポイント

急な停電時の対応策を知っておく

ブレーカーの位置を知り、携帯電話のライトや懐中電灯を活用できるように準備しておく。

家の中の安全対策

チェックポイント

お風呂の水は流さないでためる

消火用水やトイレなどの生活用水としてためておく。

チェックポイント

照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。

チェックポイント

花瓶や水槽

割れると危ないものは高い場所に置かない。

チェックポイント

冷蔵庫

固定器具等を用いて冷蔵庫が転倒・滑らないよう固定する。

チェックポイント

食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

チェックポイント

テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。

チェックポイント

暖房器具の配置に気をつける

ストーブを、ふすまや障子、カーテンの近くで使用しない。

チェックポイント

タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

窓ガラス破損に備え、スリッパを用意しよう!

家の周囲の安全対策

チェックポイント

屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

チェックポイント

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

チェックポイント

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

チェックポイント

ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

チェックポイント

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

非常用持出品・備蓄品の準備&チェック

いざという時のために、非常用持出品や備蓄品を準備し、定期的に点検を行ってください。
下図(例)を参考に、各ご家庭の備えについてチェック☑してみましょう。

	① 常時携行品 外出先で被災した場合に役立つ防災グッズ ▶いつも持ち歩くバッグなどに入れて、常に携行する	② 非常用持出品 避難の際に緊急的に自宅から持ち出す物 ▶リュックサックなどに入れ、玄関など持ち出しやすい場所に	③ 備蓄品 少なくとも3日間(できれば一週間)は自力で生活できるように準備 ▶運びやすい収納ケースなどに入れてキッチンや押し入れに
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭を含む)・携帯電話 <input type="checkbox"/> マイナ保険証or資格確認書 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/> 印鑑・預金通帳 <input type="checkbox"/> マイナ保険証or資格確認書(コピー) <input type="checkbox"/> 運転免許証(コピー) <input type="checkbox"/> マイナンバーカード(コピー)	<input type="checkbox"/> 予備の鍵(自宅・車)
飲料水	<input type="checkbox"/> ペットボトル500mlを1本 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ペットボトル500mlを3本 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ペットボトル(1人1日3ℓ) <input type="checkbox"/> 野菜ジュース
非常食品	<input type="checkbox"/> 携帯食料(飴など) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ドライフーズ <input type="checkbox"/> ビスケット、チョコレートなど <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主食(レトルトごはん・麺・パン) <input type="checkbox"/> 主菜(缶詰・レトルト・冷凍食品) <input type="checkbox"/> カップ麺・インスタント味噌汁
救急医療品	<input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 常備薬(風邪薬・胃腸薬・鎮痛剤) <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> おくすり手帳	<input type="checkbox"/> 傷薬・包帯
衛生品	<input type="checkbox"/> 携帯消毒液 <input type="checkbox"/> 歯ブラシセット <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 液体歯磨き <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 石鹸・洗面用具 <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> ドライシャンプー
ライト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> LEDランタン
ラジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/>
燃料等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 電池(多めに) <input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ・固形燃料 <input type="checkbox"/> ライター、マッチ
衣類	<input type="checkbox"/> ハンカチ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 下着・靴下	<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋 <input type="checkbox"/> 着替え
その他	<input type="checkbox"/> 連絡メモ・筆記用具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 折りたたみ傘 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> 雨具(カッパ) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 箸・スプーン <input type="checkbox"/> ラップフィルム <input type="checkbox"/> ゴミ袋・バケツ <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂等に貯水)・ポリタンク <input type="checkbox"/> なべ・やかん

※外出前は携帯電話を充電しておきましょう ※帰宅困難対策として仕事先にも非常用持出品を置いておきましょう

家庭状況によって必要なものは変わる

非常用持出品や備蓄品を検討する場合、乳幼児がいる、寝たきりの高齢者などの要介護者がいるといった家族構成や、ペットを飼っているといった暮らし方などの違いによって、揃えるべきものが異なります。各家庭の事情に応じた備えが必要です。

妊婦がいる場合

生理用品、ガーゼ、さらし、新生児用品、母子手帳 など

乳幼児がいる場合

粉ミルク、ほ乳瓶(消毒セット)、離乳食、紙おむつ、おしりふき、おもちゃ、母子手帳 など

要介護者がいる場合

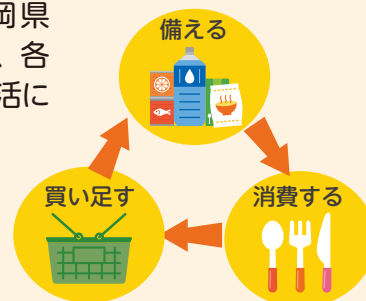
介護用品、入れ歯、補聴器、大人用紙おむつ、補助具の予備、常備薬、障害者手帳 など

ペットがいる場合

ペットフード、ペット用品(食器、トイレ、リード、ケージ)、飼い主の連絡先 など

ローリングストックとは

日常の食料を多めに購入し、消費期限前に消費して、その都度買い足すことにより食料などを保有する方法です。福岡県備蓄基本計画では、各家庭において避難生活に必要な物資を最低3日分備蓄することが目安とされています。





日頃の備え(共助)

自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

■ 平常時の活動

作ろう、参加しよう、育てよう!

大きな災害では、行政や関係機関の対応に時間がかかることがあります。個人や家族の力だけでは限界があります。

日頃の付き合いがある隣組や町内会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



みんなで学ぼう!

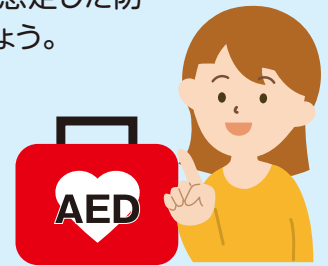
防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合しましょう。



訓練をしよう!

いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行いましょう。

- 消火器の使い方
- 心肺蘇生法(心臓マッサージの方法、AEDの使用方法)



地域を点検しよう!

地域の皆さんで事前に確認しましょう。

- 消火栓の上や防火水槽の近くに、違法駐車や放置自転車などの障害物はありませんか?
- 避難所を皆さんが知っていますか?
- 避難経路に危険な場所はありませんか?

■ 災害時の活動

- 初期消火活動 火が天井にまわるまでは消火器などを用いた初期消火が可能。
- 避難誘導 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- 救出・救助 被災者の救出。救護所への搬送。
- 情報の収集・伝達 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- 避難所の管理・運営 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



災害時特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域の皆さんの支援が必要になります。地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活の支援をしましょう。

■ 高齢者や健康に不安のある方

早めの避難が必要です。みなさんと協力して避難しましょう。



■ 車いす利用の方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



■ 耳の不自由な方

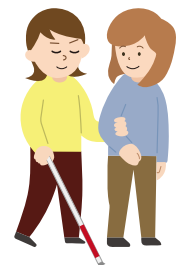
話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。

一緒に安全な場所へ行きましょう



■ 目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。





避難情報

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人一人違います。
それぞれが自ら判断し、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

避難場所の確認

ハザードマップを確認しましょう。

自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域などがある人
周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害警戒区域などがない人
自宅での安全確保の備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。



避難のタイミング

住民がとるべき行動等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動等	町の対応 (避難情報)	気象庁等が発表する情報	
				大雨・洪水	土砂災害
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ※ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保 (※町が発令)	5相当	大雨特別警報 氾濫発生情報 土砂災害特別警報
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など	避難指示 (町が発令)	4相当	大雨危険警報 氾濫危険情報 土砂災害危険警報
3	災害のおそれあり	<b>高齢者等は危険な場所から避難</b> ・避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)	高齢者等避難 (町が発令)	3相当	大雨警報 氾濫警戒情報 土砂災害警報
2	気象状況悪化	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)	防災体制	2相当	大雨注意報 氾濫注意情報 土砂災害注意報
1	今後の情報に留意	災害への心構えを高める	情報収集	早期注意情報	

※市区町村長は、河川や雨の情報 (警戒レベル相当情報) のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報の発令判断をすることから、避難情報と警戒レベル相当情報の出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。(気象庁等が発表する情報は令和8年出水期から運用開始)

**警戒レベル3** や **警戒レベル4** の段階で、  
地域の皆さんで声をかけあって、確実に安全な場所に避難しましょう。

出典:内閣府ホームページより抜粋・編集

過去の災害  
自助  
共助・避難  
情報  
洪水  
土砂災害  
地震・火災  
避難所一覧・ハザードマップ  
ハザードマップ  
揺れやすさマップ  
高潮



# 情報の伝達経路

## 防災情報の伝達経路



## インターネットからの情報収集

### ▼志免町ホームページ

志免町



### ▼志免町防災気象情報システム

志免町防災気象情報システム



### ▼福岡県総合防災情報

福岡県総合防災情報



### ▼福岡県防災ホームページ

福岡県防災ホームページ



### ▼気象庁 キキクル

キキクル



### ▼気象庁 警報・注意報

気象庁 警報・注意報



### ▼重ねるハザードマップ

地図上で災害リスク情報がわかりやすく表示され、目が不自由な方でも音声読み上げソフトを使うことで、災害リスクを把握できます



### ▼国土交通省 川の防災情報

川の防災情報



## テレビ (データ放送) からの情報収集

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「**d**」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

KBCテレビの「dボタン広報誌」では、町のお知らせに加えて災害発生時の避難情報などが配信されます。



# 防災情報の収集

過去の災害  
自助  
共助・避難  
情報  
洪水  
土砂災害  
地震・火災  
避難所一覧・ハザードマップ  
ハザードマップ  
揺れやすさマップ  
高潮

## スマートフォンアプリからの情報収集

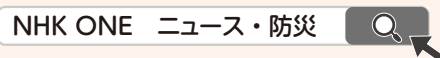


▼App Store ▼Google Play

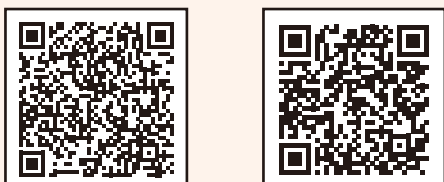


気象や避難情報が入手できるスマートフォンアプリです

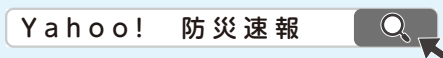
### ▼NHK ONE ニュース・防災



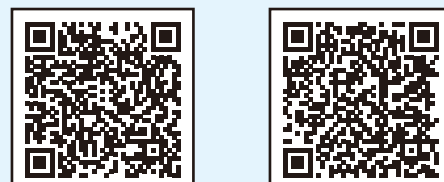
▼App Store ▼Google Play



### ▼Yahoo! 防災速報



▼App Store ▼Google Play



### ▼多言語で災害時に便利なアプリとWEBサイト

内閣府が外国の方向けとして災害時に便利なアプリとWEBサイトを多言語でまとめたリーフレットを作成しています。



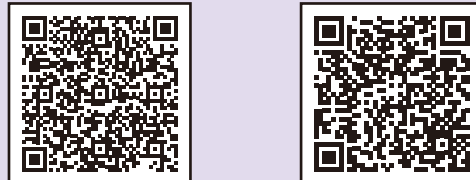
### ▼九州停電情報提供アプリ



九州エリアの停電・復旧見込み情報をスマホでいち早くお知らせします。



▼App Store ▼Google Play



## メールなどでの情報収集



### ▼防災行政無線を聞き逃した方へ

防災行政無線の放送内容を聞き逃した方のために、電話（有料）で放送内容が確認できます。

 **050-5530-1491**  
(通話料金は利用者負担となります)

### ▼志免町公式LINE

情報を受け取るには、無料アプリ「LINE（ライン）」での友だち追加が必要です。

アカウント名：  
志免町  
LINEID：  
@shimetown



### ▼緊急速報メール・エリアメール

気象庁が配信する情報（緊急地震速報など）、町が発信する災害・避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。





# マイ・タイムライン

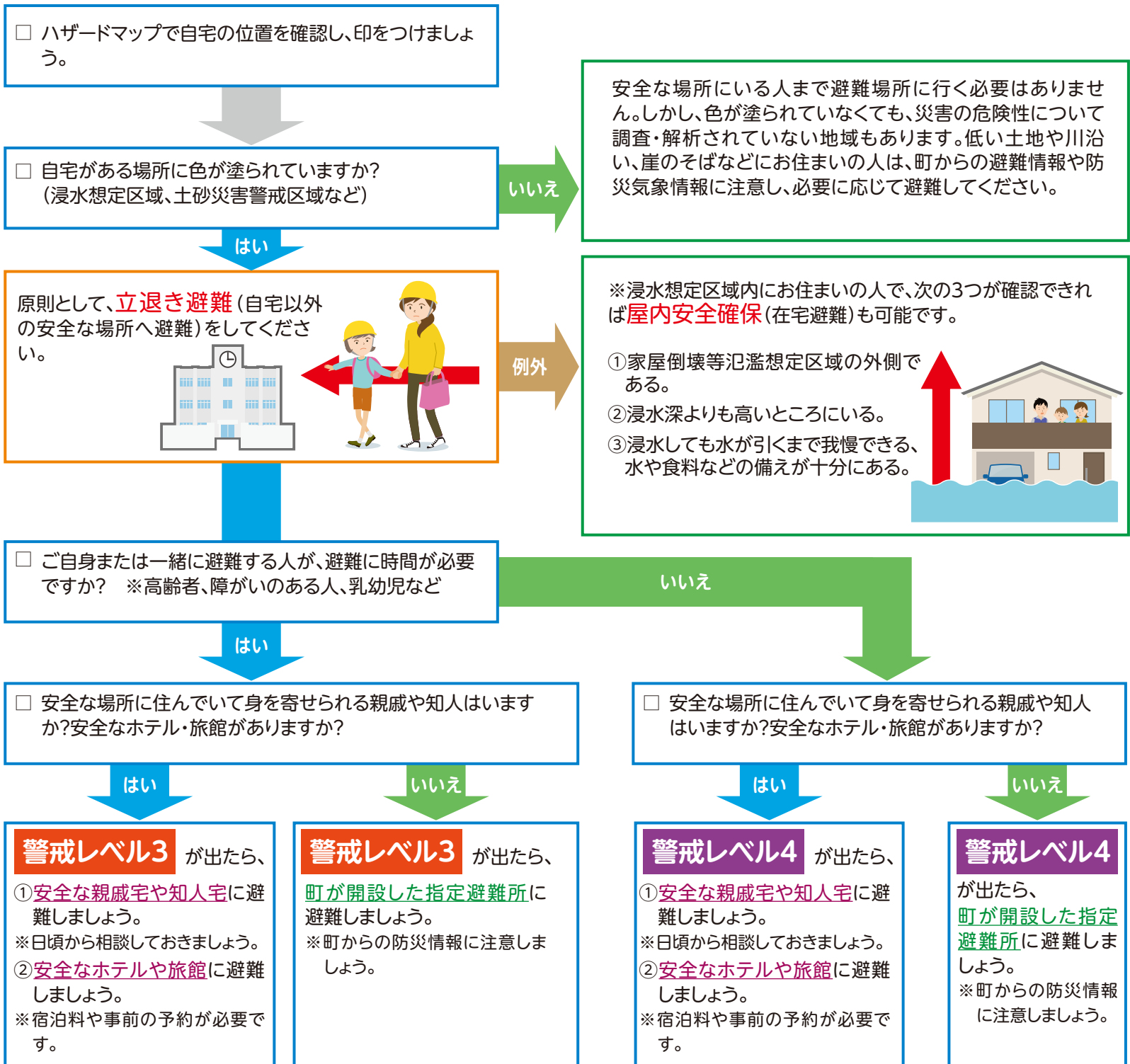
## とるべき避難行動

災害発生時に人は「自分は大丈夫」といった「正常化の偏見(バイアス)」という心理状態になるといわれています。そのような状態にならないよう、次のような点に気をつけておきましょう。

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

## 避難行動判定フロー

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき避難行動を平常時に確認しておきましょう。



内閣府ホームページより抜粋・編集

# 避難のポイント



過去の災害  
自助  
共助・避難  
情報  
洪水  
土砂災害  
地震・火災  
避難所一覧・ハザードマップ  
ハザードマップ  
揺れやすさ  
高潮

## 避難の心得

### 避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、「**自分の命は自分で守る**」という意識を持って行動しましょう。

具体的には

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる。
- 河川の氾濫により、浸水の危険がある地域に住んでいる。
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる。

気象情報や町の避難情報に注意し、早めの避難を心がけてください。



### 命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難は出来るだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定避難所への移動だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

具体的には

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

屋外での移動は危険です。自宅や近隣建物の2階以上へ(土砂災害の場合は、斜面から離れた部屋など)緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。



## 避難時の心得

### 非常用持出品は最小限に!

非常用持出品はリュックサックにまとめ、身軽に行動できるよう持ち出し品は最小限にしましょう。

### 外出中の家族には連絡メモを残そう!

避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「〇〇へ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。

### 家族の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身に付けて避難しましょう。

### 避難所に避難するときは

水や食料、常備薬、防寒対策グッズなどのほか、感染症対策に体温計やアルコール消毒液などを持っていきましょう。また、避難所に行く前に検温とマスクの着用を徹底しましょう。



## 避難のポイント

### 避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの火元を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

### 浸水した道路を通る場合

水路には十分注意して、できるだけ高いところにある道路を選びましょう。

### 徒歩での避難を!

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。車中泊避難などの場合を除き徒歩で避難しましょう。

### 一人暮らしの高齢者などには心配りを

近所の一人暮らしの高齢者や支援が必要な方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。日ごろからご近所同士で事前に話しておきましょう。

### 速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。





# 洪水

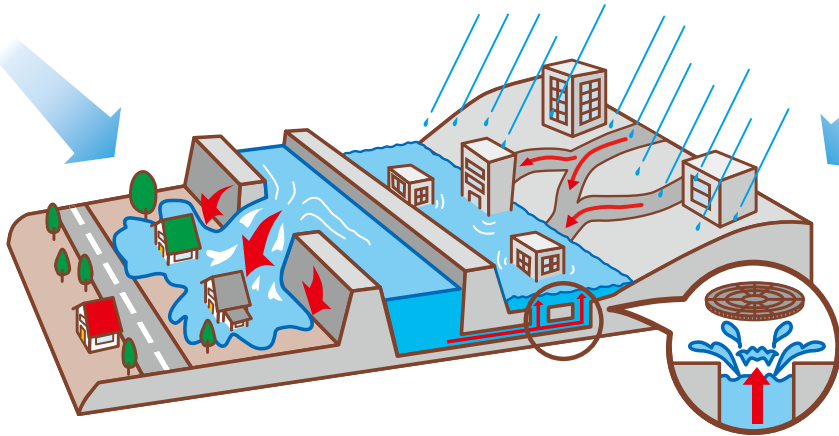
大雨などで、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが原因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こり得る災害に対応しましょう。

## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

※外水氾濫より内水氾濫が先に発生する場合があります。また内水氾濫発生箇所は側溝のふたが外れたり、水路等が見えなくなり転落のおそれがあるため、通行の際は注意が必要です。

## 雨の降り方と強さ

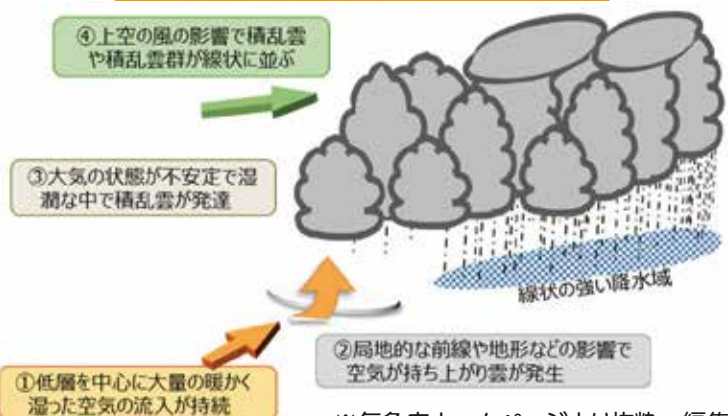
1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30mm~50mm	50mm~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ						数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	

※今いる場所で雨が降っていない場合でも、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

## 線状降水帯に注意

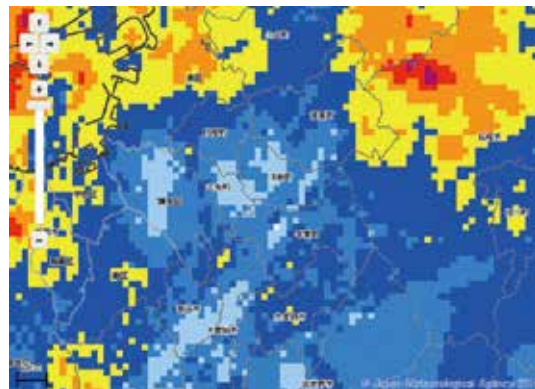
線状降水帯とは積乱雲が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する、長さ50~300km程度、幅30~50km程度の線状に伸びる強い降水帯のこと。毎年のように甚大な被害が生じています。

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



## 雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)

5分おきに1時間先までの雨雲の動きを確認できます。



※気象庁ホームページより



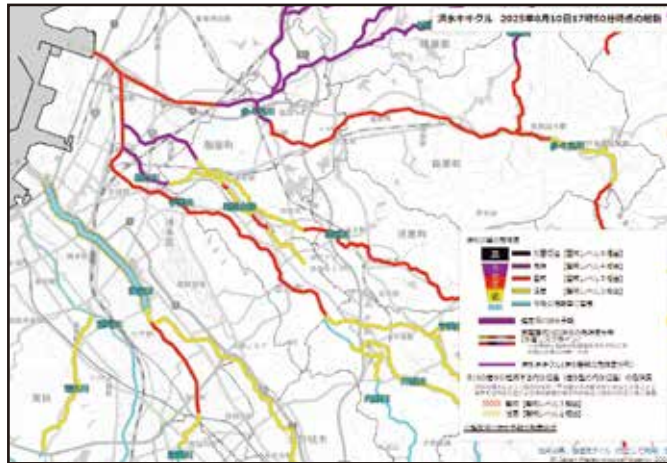
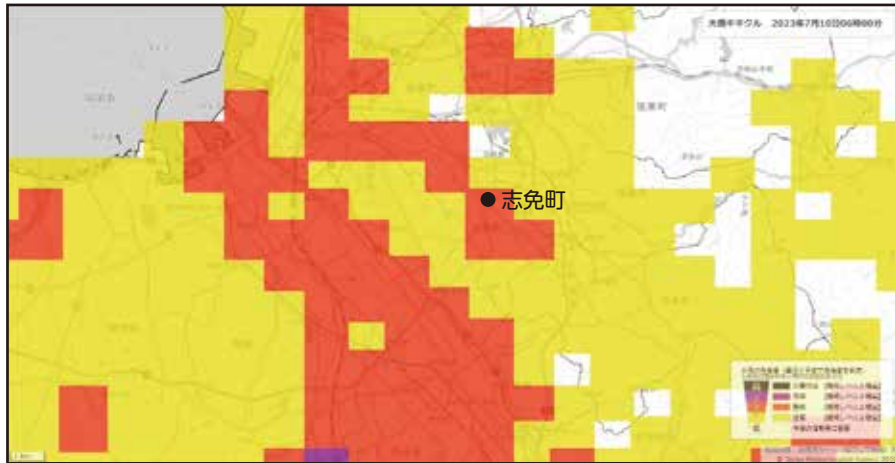
雨雲の動き

## 大雨（浸水・洪水）キキクル

中小河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）や短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）を地図上で5段階に色分けして表示します。  
大雨警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



洪水キキクル



※気象庁ホームページより(一部加工)

## 洪水キキクルの色が持つ意味

色が持つ意味	住民等の行動の例	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫	(立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保	5相当
危険	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。	避難指示	4相当
警戒	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。 高齢者等以外の人も普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

※気象庁ホームページより(一部加工)

## 洪水に関する河川情報 片峰新橋(宇美川)

福岡県河川防災情報で片峰新橋(宇美川)の水位を確認できます。川沿いでは最新の情報に注意し、すばやい行動を心がけましょう。



片峰新橋



## 志免町防災気象情報システム

宇美川の河川カメラや水位、三郡山の雨量、そのほか防災情報などを掲載しています。

- 宇美川(田富橋)河川カメラ(志免町管理)
- 宇美川(片峰新橋)河川カメラ、水位計(福岡県管理)
- 宇美川(御手洗)河川カメラ(志免町管理)
- 宇美川(二又瀬橋)河川カメラ、水位計(福岡市管理)
- 太宰府及び三郡山の雨量計(福岡県管理)



志免町  
防災気象情報システム



田富橋の河川カメラ画像



# 土砂災害

## 土砂災害防止法

福岡県では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、土砂災害が発生するおそれがある区域として「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

### 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

### 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

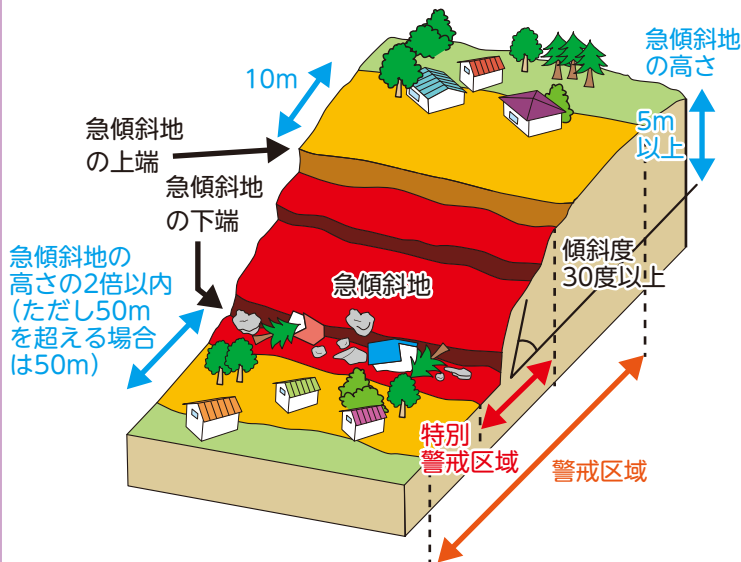
※指定区域の詳細については、福岡県ホームページまたは志免町役場(生活安全課)でご確認ください。

## 土砂災害の種類

### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

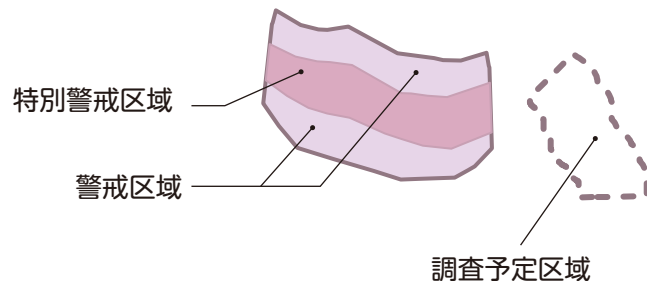
#### 区域指定の基準



#### 前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

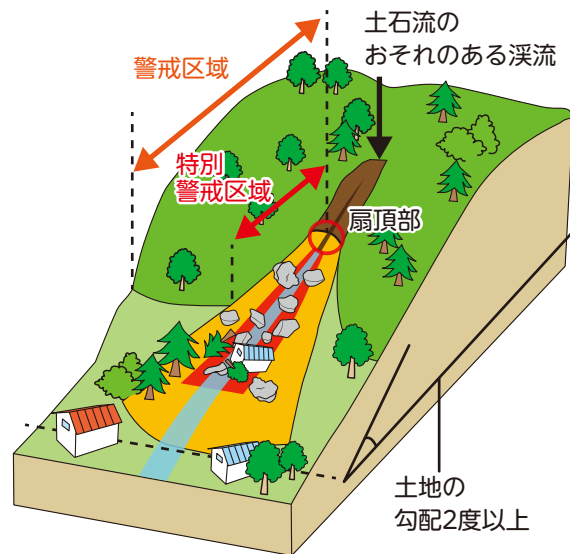
#### ハザードマップの表示



### 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

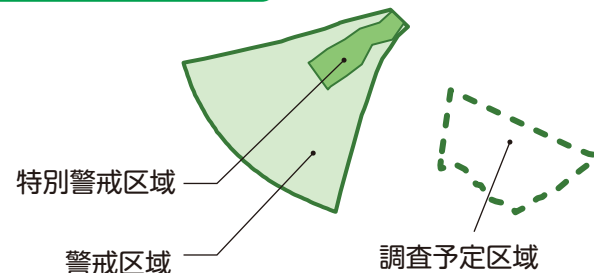
#### 区域指定の基準



#### 前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

#### ハザードマップの表示



福岡県が公表している、土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所はハザードマップ上に点線を表示しています。

※新たな調査予定箇所は、高精度地形図を用いて抽出を行ったものであり、土砂災害防止法に基づく現地調査の結果、土砂災害警戒区域等の範囲が異なることや、指定基準を満たさず、区域指定を行わないことがあります。

## 土砂災害危険警報とは

土砂災害危険警報は、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、警戒レベル4相当として気象台が発表。

### ■発表されたら

- 町からの「警戒レベル4避難指示」の発令に留意しましょう。
- 土砂キキクルや福岡県総合防災情報などで、いまいる場所が安全かを確認しましょう。
- 避難指示が発令されていなくても、自ら土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難の判断をしましょう。



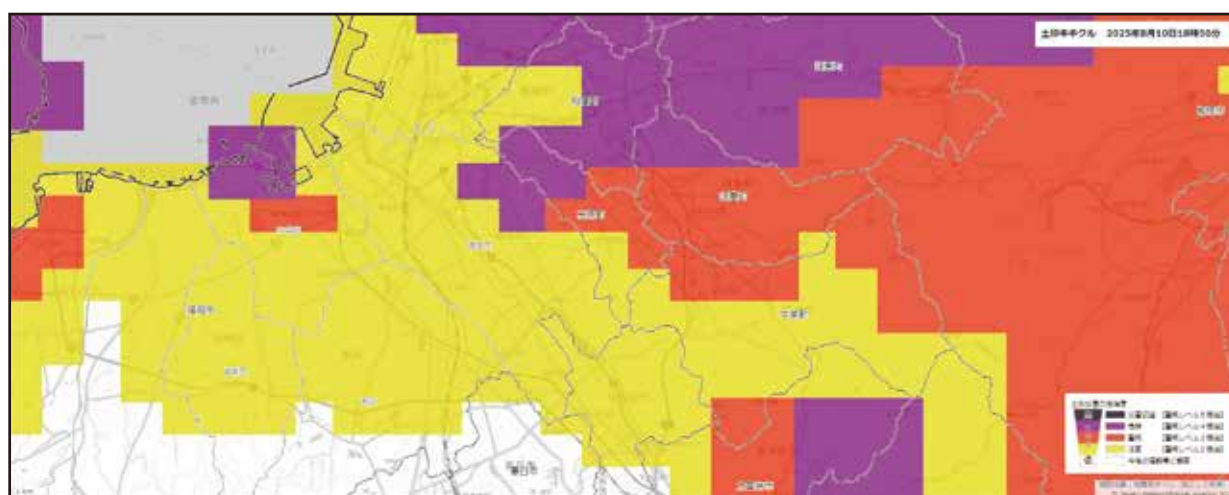
福岡県  
総合防災情報



土砂キキクル

## 土砂キキクル

土砂キキクルは、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けし常時10分毎に更新して表示します。土砂災害警報や土砂災害危険警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより(一部加工)

## 危険度の色と避難行動

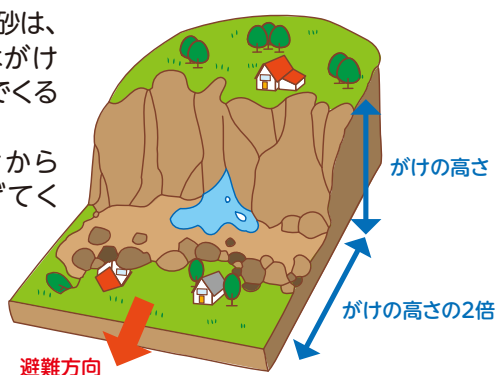
色が持つ意味	住民等の行動の例	目安となる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫	(立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	緊急安全確保	5相当
危険	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	避難指示	4相当
警戒	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の人でも普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

※気象庁ホームページより

## 土砂災害における避難のポイント

### ● かけ崩れのおそれがある場合

一般的に、かけ崩れの土砂は、地面から平らなところのはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、はがけからできるだけ遠くに逃げてください。



### ● 土石流のおそれがある場合

溪流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら流れに直角の方向に逃げましょう。





# 地震

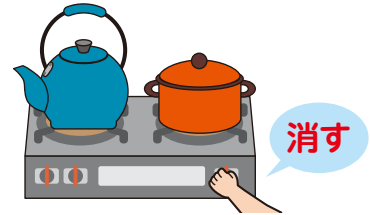
地震は洪水や土砂災害などと違い、いつどこで起きるかわかりにくい自然災害です。  
いざというときにあわてずに適切に行動できるよう、日頃から地震時の心構えを身につけておきましょう。

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

### 地震発生

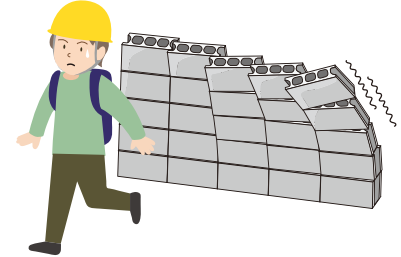
#### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



#### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱、靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- 危険が予想される地域はすぐ避難
- ガス 今はマイコンメーターが付いており、大きな揺れがあった場合、作動し、ガスの供給を断ちます



1~2分

#### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう
- 要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか

- 初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意
- 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
- 余震に注意

3分

#### ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声で知らせる
- 救出・救護を
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

10分  
数時間

#### 協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集
- 無理はしない
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

3日

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- ◆揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- ◆火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- ◆乳幼児や病気の方、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- ◆裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

#### デパート・スーパー

- ◆カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。
- ◆柱や壁際に身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

#### 集合住宅

- ◆ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- ◆避難にエレベーターは絶対に使わない。
- ◆炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



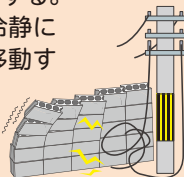
#### 劇場・ホール

- ◆カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- ◆あわてずに冷静な行動をとる。

### 屋外にいた場合

#### 路上

- ◆その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ◆近くに空き地などがいないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ◆ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ◆倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



#### 山間地

- ◆落石や土石流、がけ崩れのおそれがあるので、すみやかに避難する。避難の際は、土砂（土石）の流れる方向とは直角に逃げる。

#### 車を運転中

- ◆ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落として、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ◆揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ◆避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### 電車などの車内

- ◆つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ◆途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# 火災

過去の災害  
自助  
共助・避難  
情報  
洪水  
土砂災害  
地震・火災  
避難所一覽・ハザードマップ  
ハザードマップ  
揺れやすさ  
高潮

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

## 初期消火の3原則

### 1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、声が出なければやかんなどを叩き、隣近所に異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

### 2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけでなく、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。

## 覚えておこう!「119」のかけ方

119番通報では、次のような内容を落ち着いて正確に答えましょう。

- ①火災が発生していること
- ②出火場所の住所はどこか  
目印になる建物・施設なども
- ③何が燃えていて、火災の規模はどの程度なのか
- ④けが人や逃げ遅れた人はいるか
- ⑤通報者の名前と電話番号



粕屋南部消防本部  
ホームページ

## 初期消火のコツ

油なべ	電気製品	衣類
水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。	いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。	着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。
ストーブ	カーテン・ふすま	
消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。	カーテンやふすまなどに火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。	

煙があぶない!

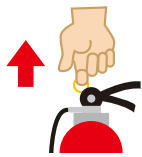


### 3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。
- 濡らしたタオルやハンカチなどで口と鼻を覆う。
- できるだけ姿勢を低く、身をかがめて避難する。

## 消火器の使い方

### 粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけるように引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

### 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。炎には真正面に向き合わない。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



## 火災予防が一番!! ~ 住宅用火災警報器の設置義務化 ~

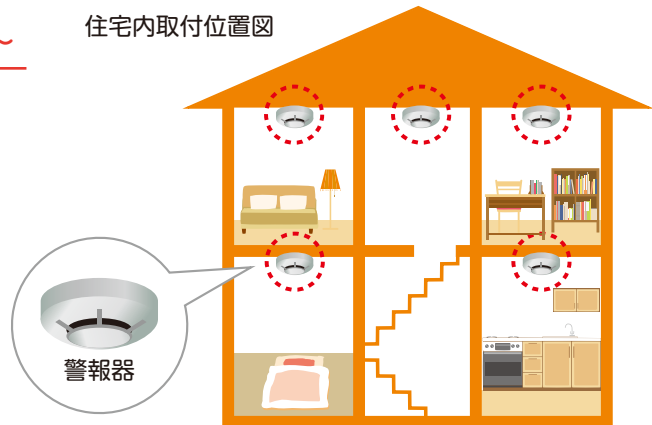
住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。命を守るために設置しましょう。

### 火災警報器の設置場所

- 寝室および「寝室に行く階段」の天井への設置が必要です。
- 台所への設置もおすすめします。

住宅用火災警報器は、設置して約**10年**が交換の目安です!

住宅内取付位置図





# 指定避難所一覧

避難所を開設した際は、ホームページや防災行政無線、志免町公式LINE、ふくおか防災ナビ・まもるくんなどでお知らせします。

**一般避難所** …………… 災害により、被害を受け居住場所を失った場合や、被害を受けるおそれのある場合において、一定期間避難生活をする施設

校区	No.	避難所名称	所在地	災害種別毎避難所の指定			
				洪水	高潮	土砂災害	地震
志免西小学校	1	志免西小学校	別府2-4-1	○	○	○	○
	2	西地区社会体育館	別府3-3-2	×	×	○	○
	3	御手洗共同利用施設	御手洗2-13-18	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	4	アネシス公民館	別府北2-2-2	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	5	鏡共同利用施設	別府北1-17-10	×	×	○	○
	6	別府文化センター	別府4-22-6	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	7	西校区ボランティアセンター(別府一公民館)	別府1-21-17	○(2階以上)	○	○	○
	8	別府二公民館	別府西3-9-8	○	○	○	○
	9	別府三公民館	別府東1-7-1	○	○	○	○
	10	南里二公民館	南里6-13-7	○(2階以上)	○	○	○
志免中央小学校	11	志免中学校	片峰4-3-1	○	○	○	○
	12	志免中央小学校	志免中央1-8-1	○	○	○	○
	13	志免町民センター	志免中央1-2-1	○	○	○	○
	14	志免町民体育館	志免中央1-10-1	○	○	○	○
	15	南里一コミュニティセンター	南里2-27-16	○(2階以上)	○	○	○
	16	王子八幡共同利用施設	王子4-22-1	○	○	○	○
	17	南里三公民館	王子1-17-11	×	○	○	○
	18	中央校区ボランティアセンター(志免六公民館)	片峰中央4-1-1	○	○	○	○
	19	志免五公民館	片峰中央3-16-21	○	○	○	○
	20	坂瀬団地集会所	坂瀬10-1	○	○	○	○
	21	東校区ボランティアセンター(志免四公民館)	志免1-1-8	○	○	○	○
	22	志免二コミュニティセンター	志免1-13-17	○	○	○	○
志免東小学校	23	志免東中学校	志免東4-4-1	○	○	○	○
	24	志免東小学校	志免東1-1-1	○	○	○	○
	25	志免東保育園	志免東1-1-5	○(2階以上)	○	○	○
	26	志免町社会会館(東区公民館)	東公園台1-3-1	○	○	○	○
	27	松ヶ丘集会所	松ヶ丘9-1	○	○	○	○
	28	志免三公民館	志免2-8-10	○	○	○	○
	29	向ヶ丘公民館	向ヶ丘2-1-3	○	○	○	○
	30	成和公民館	志免東3-14-12	○	○	○	○
	31	田富共同利用施設	田富4-9-20	○(2階以上)	○	○	○
志免南小学校	32	志免南小学校	大字吉原556	○	○	○	○
	33	志免南保育園	大字吉原674	○	○	○	○
	34	吉原公民館	大字吉原175-3	○(2階以上)	○	○	○
	35	水鉛公民館	大字吉原644-13	○	○	○	○
	36	石橋台公民館	石橋台19-1	○	○	○	○
	37	桜丘一公民館	桜丘1-1-4	○	○	○	○
	38	南校区ボランティアセンター(桜丘中央公民館)	桜丘3-30-10	○	○	○	○
	39	桜丘共同利用施設	桜丘2-15-12	○	○	○	○
	40	桜丘南公民館(桜寿荘)	桜丘4-27-1	○	○	×	○
	41	桜丘五集会所	桜丘5-13-7	○	○	×	○
	42	志免町弓道場	大字別府1259-1	○	○	○	○

**福祉避難所** …………… 避難所では生活に支障がある要配慮者やその家族、支援者を対象とした施設

校区	No.	避難所名称	所在地	災害種別毎避難所の指定			
				洪水	高潮	土砂災害	地震
志免中央小学校	43	ふれあいセンター(福祉避難所)	志免中央1-3-1	○	○	○	○
志免東小学校	44	シーメイト(福祉避難所)	大字志免451-1	○	○	○	○



# 防災に関する知識

## 日常の心得

災害は、いつ発生するかわかりません。日頃からの備えが大切です。  
日頃から気象情報について、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。

## 災害用伝言ダイヤルの使い方

### ■ 災害用伝言ダイヤルとは？


NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否などの情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。※伝言蓄積数や保存期間は災害の状況により異なります。

伝言の録音	171-1-●●●●●-●●●●●●●●●●	(自宅の電話番号、または連絡を取りたい方の電話番号)	伝言保存期間	提供終了まで
伝言の再生	171-2-●●●●●-●●●●●●●●●●		伝言蓄積数	電話番号あたり1～20伝言まで
伝言内容(時間)	1伝言あたり30秒以内		利用可能電話	加入電話、ISDN、ひかり電話、公衆電話、携帯電話(一部除く)など

## 連絡方法の確認



災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。  
なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。  
事前に利用方法を確認しておきましょう。

一般社団法人電気通信事業者協会  
《災害時の電話の利用方法》




NTT西日本  
《災害用伝言ダイヤル171》

NTTドコモ 《災害用伝言板》

au  
《災害時伝言板サービス》

SoftBank  
《災害用伝言板》



## 電話での情報収集・緊急連絡

### 防災行政無線を聞き逃した方へ

防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができます。

 **050-5530-1491**  
(通話料金は利用者負担となります)



## 緊急連絡先 ※緊急時はつながりにくい場合があります。

- 火事・救急は ..... **119**
- 警察は ..... **110**
- 志免町役場 ..... 092-935-1001
- 粕屋警察署 ..... 092-939-0110  
(志免交番)
- 粕屋南部消防本部 ..... 092-935-5111
- 福岡東配電事業所 ..... 0120-426-305  
(停電情報自動応答サービス)  
【通話料無料】

## dボタン(テレビ)

地上デジタル放送では、天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」をリモコンの「@」ボタンから配信しています。

NHKや民放各局で配信されており、KBCテレビの「dボタン広報誌」では町のお知らせに加え、災害発生時の避難情報も配信されます。

